

八王子の国際イベントを盛り上げるために

創価大学 大場ゼミ

須田昌美, 広瀬彩, 霜鳥悠宇, 山角健一, 相羽一, 姜小函

指導教員 大場隆広

創価大学 経営学部 経営学科

1. 導入

本企画は、八王子市の人団増加による八王子市内での経済循環を目的とし、より活気があり、市と市民が共同で作り上げるイベントの提案を行う。そこで、我々は八王子市に住む外国人、留学生の数に目をつけた。近年、東京都は外国人居住者の数が増加傾向にある。それに伴って八王子市の外国人居住者の数も年々増えている（図1）。八王子市として、「八王子市国際交流フェスティバル」等のイベントがあることから、我々は外国の文化をより良いイベントにすることで観光客の増加、外国人居住者を主とする人口の増加、八王子市の活性化を目指す。

2. 現状

次に、八王子市で開催された国際交流フェスティバルの現状を、同じ多摩地域の三鷹市と人口や来場者などを比較して見ていく。八王子市の人口は約170,000人（2016年）で、外国人居住者の数は約10,000人（2016年）である。昨年、八王子国際交流フェスティバル2016が学園都市センターにて開催され、来場者は約1,300人ほどであった。一方、三鷹市の人口は約190,000人であり、外国人居住者の数は約2,800人である。三鷹市で開催された三鷹国際交流フェスティバル2016は井の頭恩賜公園西園文化交流広場および野球広場で行われ、約49,000人の人が来場した。この結果から、八王子市の国際的イベントは盛り上がりに欠けていると考えることができる。両市の人口から見ると大差ではなく、外国人居住者の数では3倍以上八王子市の方が多いが、来場者を見ると約38倍以上も三鷹市との差がある。

さらに、三鷹市の例から、国際イベントは確かな需要があり、方法次第では50,000人近い集客を狙えるのである。

3. 提案

我々は、八王子市在住者を中心にアンケートを取り、国際交流のイベントに関する調査を行った。八王子市で外国人及び留学生と日本人学生主体のイベントを開催する際、62.8%の人が参加したいと回答した（図3）。ここから、国際的なイベントがあると知れば、半数以上の人は来場するのではないかと考えられる。ではなぜこのパーセンテージと実際の来場者にこれほどのギャップがあるのか。我々は、開催場所、知名度に問題があると考える。三鷹市では井の頭恩賜公園西園文化交流広場、野球広場というメディアで人目に付きやすい場所で行っているのに対し、八王子市では学園都市センターという比較的人目に付きにくい場所で行われている。そうでなく、人目に付きやすい場所、例えば駅前などにイベントスペースを設ければ自然と認知度の向上にもつながり、来場者は増えるのではないか。また、どのようなイベントがあったらよいかという設問の回答には86.4%も各国のグルメのある屋台というものがあり、イベントの内容も需要のあるものに寄せるべきであると考える（図4）。

創価大学では毎年大学祭において、留学生と日本人学生が中心となって運営を行う「留学生喫茶」という企画がある。ここでは様々な国のグルメやステージ演奏を楽しむことができ、留学生と日本人の交流を図れる良い機会となっている。これを応用すれば、八王子の大学生と留学生が中心となって企画イベントを盛り上げていくことも可能であると考えられる。

4. 結論

国際的なイベントに力を入れることにより、八王子の知名度は上がり活気のある街にすることが可能になる。また、学園都市であるため、学生が中心となって国際的なイベントを企画し、開催するのも一つの案として挙げられる。それらのイベントをSNSやポスターなどで告知し、駅前の広場など人目に付きやすいところで行うことにより格段に参加者は増えると考えられる。国際的なイベントを大規模で行うことにより、外国人及び留学生がさらに住みやすいと感じる街になり、観光客増加、人口増加につながるのではないかだろうか。

5. 参考文献

当日の資料をご覧ください。

図 1



図 2

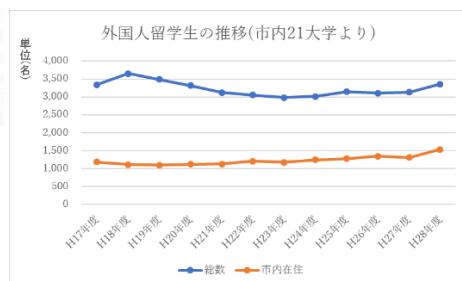
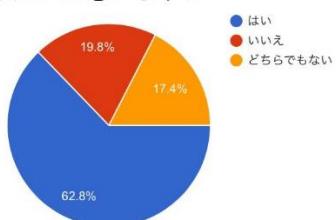


図 3

八王子の駅前や公園などで、外国人、留学生と各大学の学生が主体となって行うイベントがあったら参加したいと思いますか？



「はい」と答えた方はどのような企画があったらそのイベントは盛り上がると思いますか？(複数回答可)

